

授業科目	国際社会と日本【講義】		開講時期	前期
担当教員	須藤 遙子		単位	2
授業の目的と概要	現在、国際社会のなかで日本が直面している問題やトピックを時事ニュースを通して考えていく。回ごとに1つのテーマを決めて解説・考察する。毎回順番にその週の国際ニュースを発表してもらう。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の現状をグローバルな観点から考察できる。</li> <li>・多角的な視野で情報を分析できる。</li> <li>・自分の考えを文章で表現する。</li> </ul>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(2) -⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」この科目は放送局で実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	オリエンテーション。授業の進め方の説明。	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第2回	メディアとは。	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第3回	911, 311後の世界	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第4回	東アジア近現代史1：日本と朝鮮半島	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第5回	東アジア近現代史2：日本と中国	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第6回	北朝鮮ミサイル問題1：自衛隊と憲法	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第7回	北朝鮮ミサイル問題2：アメリカと沖縄	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第8回	北朝鮮ミサイル問題3：島嶼部の現実	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第9回	時事ドキュメンタリー学習1	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第10回	パレスチナ問題	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第11回	LGBT	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第12回	オリンピック	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第13回	【特別講義】中国における高倉健 講師：晏？（アニー）日本映画大学特任教授	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第14回	東アジアの中の日本。	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第15回	世界の中の日本。まとめ。	復習。		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	50％			
レポート	30％（レポート、授業後に提出する考察ペーパー）			
小テスト等	0％			
成果発表	0％			
受講態度他	20％			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	その時々最新のニュースを扱うため、シラバスのテーマが前後・変更することを了承のこと。また、学内で授業に関連する講演会やイベントが開催される場合、シラバスを変更して参加する場合もあるので了承のこと。授業内の私語・スマートフォン使用厳禁。対面でのコミュニケーション能力養成のため、メールでの連絡は原則禁止としますので、用件のある学生は授業前後やオフィスアワーに話しにきてください。細かいルールに関しては、第1回目のオリエンテーションで説明します。			
教科書	なし。適宜プリントを配布します。			
指定図書	なし。			
参考図書	授業ごとに指定します。			
オフィスアワー	月曜昼休み。	メールアドレス		